

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名		コード	19500 環境衛生事務費	予算科目	会計	款	項	目	所管課	環境課	担当班	環境政策班
		(2)	(環境基本計画)(地球温暖化対策実行計画)	科目	一般	4	1	4				
施策体系	基本施策	22	自然環境の保全	根拠法令	旭市環境基本条例、地球温暖化の推進に関する法律							
	施策の展開	45	自然環境の保全	戦略事業	198 環境基本計画の見直し							
	施策の展開			戦略事業	199 環境(大気・水質)変化の調査監視							
										事業種別	☒ 主な事業 ☒ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	I. 自然豊かな郷土を次世代に引き継ぐため「環境基本計画」に則して環境施策に取り組んでいく。 II. 平成31年3月策定の「地球温暖化対策推進実行計画」に基づき平成29年度の温室効果ガス排出量を基準として令和元～5年度までに15.8%削減するための取り組みを行う。旭市総合戦略においては平成26年度の温室効果ガス排出量を基準として平成27～31年度までに3.8%削減を目標としている。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
I. 旭市環境基本計画は、旭市環境基本条例第9条の規定により策定する。II. 法により地方公共団体は、温室効果ガスの排出抑制のための施策を行うこととされている。	・平成29年度環境基本計画を策定し、目標とする環境像の実現に向けた施策を展開していく。・地球温暖化対策推進実行計画で旭中央病院は対象となる組織・施設から除外となった。	身近な生活環境や廃棄物分別への苦情関心が多い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
1.委託料(基本計画)	0	旭市環境基本計画策定業務委託	千円					
			千円					
			千円					
			千円					
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金	0		千円	0	0	0	0	0
2.都道府県支出金	0		千円					
3.地方債	0		千円					
4.その他	0		千円					
			千円	0	0	0	0	0
前年度増減理由			従事職員数 常時 3 人 最大 5 人 × 11 日 = 延べ 55 人					

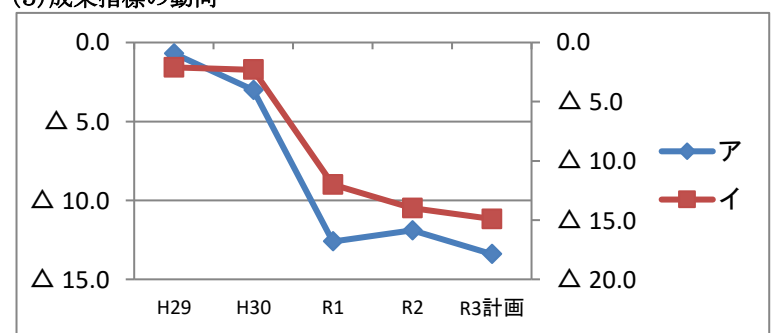
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 環境審議会1回、きれいな旭会議1回、計2回 令和2年度温室効果ガス排出量調査(各課へ依頼)及び結果公表(HP・広報)	ア 環境審議会・きれいな旭会議開催回数	回	3	2	3	2	4
		イ 電気使用量 ※中央病院除く	kw/h	11,680,839	11,282,668	11,492,750	11,251,384	10,688,814
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象 市の施設 意図 平成26年度を基準に平成27～31年度までに3.8%、平成30年度を基準に令和2～6年度までに17.0%温室効果ガス排出量を削減する。(旭市総合戦略)	ア 令和元年度まで(平成26年度基準)令和2年度から(平成30年度基準)温室効果ガス排出量比 ※中央病院除く	%	△0.7	△3.0	△12.6	△11.9	△13.4
	対象 市の施設 意図 平成24年度を基準に平成26～30年度までに3.8%、平成29年度を基準に平成31～令和5年度までに15.8%温室効果ガス排出量を削減する。(地球温暖化対策実行計画)	イ 平成30年度まで(平成24年度基準)令和元年度から(平成29年度基準)温室効果ガス排出量比 ※中央病院除く	%	△2.1	△2.3	△12.0	△14.0	△14.9

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	かなりある	ある程度ある	ほとんどない	
大きい	①			
普通				
小さい				
評価結果	①	(1)		
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	成果動向
	③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	現状維持 廃止・休止 見直し その他()	28年度 29年度 30年度 1年度 2年度 3計画
			平成31年3月に策定された第3次旭市地球温暖化対策推進実行計画に基づき、引き続き温室効果ガスの削減を推進する。	拡大 縮小	第3次旭市地球温暖化対策推進実行計画に即したものとす。	△0.5 △0.5 △2.3 △0.2 △9.6 △2.0 0.7 △1.5 △0.9